

地理・地名情報を探すには

地理・地名情報を探すための主な資料を紹介します。

1 地理学事典

『最新地理学辞典』（大明堂 1985）〔R290.3〕

地理学用語、地名事項などの小項目を五十音順に配列し、地図・図表を用いて解説する。付録に独立国一覧、姉妹都市一覧。巻末に欧文事項索引がある。

2 各国事典・便覧

『最新世界各国要覧』12訂版（東京書籍 2006）〔R302〕

全独立国と地域200の最新データと情報を、国ごとに見開き2ページに収録した国・地域別データブック。各国の情報統計欄に新項目を加え、資料編には国際条約署名・批准状況、国際連合機関図などを掲載。

『事典東南アジア』（弘文堂 1997）〔R292.3〕

社会科学の諸分野に生態学も加えた学際的な研究で優れた成果をあげている京都大学東南アジア研究センターが、この地の自然と人間の多様な繋りを事典の形でまとめた。練達のフィールドワーカーが多次元空間への旅を案内する。

『事典現代のアメリカ』（大修館書店 2004）〔R295.3〕

激動するアメリカの多様な相貌とその底流をなすものを第一線の専門家・ジャーナリスト106名が捉えた百科事典。政治・経済・歴史・社会・文化から日常生活まで、アメリカの全貌を明かしながら現状と問題点を探る。

『イギリス文化事典』（大修館書店 2003）〔R293.3〕

イギリス文化全般に渡る基本知識を60の項目に分けて歴史的に概観、わかりやすさを重視して簡潔にまとめた事典。写真や各種図版も多数挿入、便利な索引つき。

『スコットランド文化事典』（原書房 2006）〔R293.32〕

自然・地理から歴史、民俗、学芸、産業、言論、生活からスポーツまで、お雇い外国人以来の深い絆のスコットランド文化全般を網羅。1700を越す項目を体系的に構成し、多数の写真・図版と合わせ、読んで楽しめる事典。

『事典現代のドイツ』（大修館書店 1998）〔R293.4〕

政治・経済・歴史・社会・文化から日常生活まで、ドイツの全貌をとらえた画期的百科事典。一般的関心が高いと思われる分野について多くスペースをさき、最新データを駆使して歴史的展望もおさえながら現状と問題点を探る。

『全国市町村要覧』（第一法規 1981-2016）〔R318.03〕

全国の市区町村別に人口、世帯数、面積、人口密度、高齢者人口、産業別就業人口、国勢調査人口及び増減の状況、市区町村長名・議会議長名、合併及び境界変更等の状況等について最新の情報に基づき収録。見返しに地図等あり。

3 地域百科事典

東京都、神奈川県のものをご紹介します。

『江戸東京学事典』新装版（三省堂 2003）〔KA3-00〕

「江戸」と「東京」の400年を1100の項目で解説した都市学事典。理解を深めるための写真や図・グラ

フを豊富に掲載。巻末に、江戸東京の地図、年中行事などを収録。

『東京百科事典』（国土地理協会 1982） [R291.36] [K A3-00]

自然と生活、東京の歴史、区市町村の地誌、産業と流通、生活と文化の5部構成。付録に歴史年表、統計表、参考文献がある。

『神奈川県百科事典』（大和書房 1983） [R213.7] [KA3-88] 約6000項目

別冊の概説篇は統計、年表、諸施設一覧、小・中学校・特殊教育学校、農業協同組合・漁業協同組合、年中行事、かながわ県50選、神奈川文化賞・スポーツ賞、指定文化財、遺跡一覧、方言分布図、参考資料目録、分野別索引。

4 地域年鑑

『世界年鑑』（共同通信社 1987-2017） [R059]

世界のすべての国々と地域の最新情報を収録した年鑑。2017年版はトランプ米大統領就任、英EU離脱など、2016年～2017年初めの主な出来事を巻頭特集で解説。各国の元首・閣僚一覧、世界人名録付き。

『アジア動向年報』（アジア経済研究所 1998-2016） [R302.2]

2016年版は目まぐるしく変化した2015年のアジアの23の国・地域の動向を、政治、経済、対外関係にわたって、各国・地域研究者が現地資料や現地での調査にもとづいて分析。アメリカ・アジア関係等を取り上げたトピックスも掲載。

5 地名索引・地名読みかた辞書

『外国地名よみかた辞典』（日外アソシエート 2008） [R290.33]

国内の代表的な地名事典、百科事典に掲載されている海外の国名・都市名・山岳名・河川名など、延べ4万件を超える外国地名のアルファベット表記・カタカナ表記を確認できる表記辞典。漢字圏は収録対象外。

『現代日本地名よみかた大辞典』全7巻（日外アソシエート 1985） [R291.033]

郡名、市名、町・村名、指定都市の区名、大字・丁目名など現行の行政地名を中心に約31万件を収録。7巻は索引。

『全国地名読みがな辞典』第6版（清光社 1998） [R291.03]

国土地理院・文部省・自治省・郵政省、その他の政府機関の刊行物、民間の地名に関する出版物から地名の収録及び読みがなを採録。住居表示整備済・未整備区域に分類し、五十音順に配列。集配郵便局、警察・税務署の所在・管轄、特定・簡易郵便局、小・中学校の所在を記載。

『難読・異読地名辞典』（東京堂出版 1999） [R291.03]

魚貫町(熊本県)、先崎(千葉県)、無音(山形県)…何と読むのかわかりますか？読めない、間違いやすい、読み方が何通りもある地名を漢字画数順に配列。

『難読誤読島嶼名よみかた辞典』（日外アソシエート 2015） [R291.03]

天売島、寒風沢島、興居島…。読めますか？難読、また誤読しやすい島の名前を調べられる島嶼名小辞典。漢字名見出し771種、北海道から沖縄までの計1625島を収録し、各島の所在地・面積も明記。見返しに部首索引あり。

『全国地名駅名よみかた辞典』（日外アソシエート 2006） [R291.03]

日本全国の地名118900件、JR・私鉄・公営鉄道の駅名約9000件の読みかたを網羅した辞典。平成の市町村大合併に対応しながら、消えてしまった旧市町村の名称も収録する。便利な「頭字音訓ガイド」「検字表」付き。

6 地名事典

『世界地名大事典』全8巻（朝倉書店 2012-17） [R290.33]

日本を除く世界の地名約4万8千を厳選して地域別に解説した地名事典。6は、ヒ〜ワで始まるヨーロッパ・ロシアの地名を50音順に配列し、地名の所在地、地形・気候、歴史、政治、文化などを記述する。

『世界地名辞典』新版 2冊（東京堂出版 1982） [R290.33]

東洋編と西洋編からなり、東洋編は日本以外のアジア全域を対象とし、約3000項目を五十音順に配列。ABC順と漢字画引索引がある。西洋編はヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、オセアニア、旧ソ連、極地方を対象とし、約4000項目をカナ見出しの五十音順に配列。ABC順と漢字画引索引がある。

『世界地名大辞典』全4巻（日本図書センター 1996） [R290.033]

昭和7年～10年刊の復刻版。

『日本歴史地名体系』全52冊（平凡社 1979-2005） [R291.03]

都道府県別の地名事典。現行市町村名ごとに近世の村名と町方の町名を立て、歴史的地名を網羅的に収録し、典拠文献を示して解説。各巻に五十音索引と難読地名索引がある。49巻は約40万項目の総索引。50巻は分類索引。

『角川日本地名大辞典』全48冊（角川書店 1978-90） [R291.03]

都道府県別の地名辞典。各巻ごとに総説、地名編、地誌編、資料編別に編集。地名編は古代から近代までの地名を網羅的に収録し、五十音順に配列する。別巻は日本地名資料集成、日本地名総覧。

『大日本地名辞書』増補版 全8冊（富山房 1988） [R291.03]

上方、中国・四国、西国、北国・東国、坂東、奥羽、北海道・樺太・琉球・台湾に分けて、国郡、郷荘、村里、寺社、山川などの地名について、典拠文献に基づいて歴史的・民俗学的側面から解説。1巻には汎論・索引、地名総説、国郡目次、五十音順カナ索引、部首別画数順漢字索引などがある。

『日本地名大辞典』全7冊（朝倉書店 1974-77） [2階カウンターR291.03]

九州、中国・四国、近畿、中部、関東、東北、北海道に分けて、約1万4000項目を収録。

7 地誌

『日本の地誌』10巻（朝倉書店 2005-09） [R291.08] 1・2・5・6巻を所蔵

現代の日本列島の自然現象と人文現象の多様性を地域的に系統的に整理し記述するとともに、それを生じさせた背景の構造を探るシリーズ。5巻は、首都圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）を収録。

『日本地誌』21巻（二宮書店 1979-82） [R291.08]

7巻は東京都。

『多摩地域の歴史地誌』（之潮 2016） [K D1-03]

江戸の水源であり、大都市東京の水源である多摩地域。その水とヒトの生活の実際を、歴史地理学の手法で概観。湧水・小河川利用から井戸水・用水利用、近代水道の導入と一元化の現状までをたどる。